

# AttackTree

## リリースノート 4.0.0

---

2018/5

株式会社ウェーブフロント

## AttackTree 新機能

- AttackTree は脅威分析や J3061 や ISO26262 のような、よく知られているリスクアセスメント規格に対する脅威モデル化のフレームワークを供給します。ユーザは独自の結果カテゴリや重要度の重み付け、カテゴリ尤度やリスクレベルにより分析方法をカスタマイズすることができます。
- インジケータの値がゲート、結果、カットセットレポートのリスクカテゴリに表示されるようになりました。
- インジケータのオプションが追加されています。

## インストールに関する注意点

- AttackTree 4.0 は、既存のバージョンの AttackTree とともに新製品としてインストールされます。以前のバージョンを必要としない場合はアンインストールすることをお勧めします。
- AttackTree 3.0 からアップグレードする場合は、バージョン 3.0 のライセンスをバージョン 4.0 のライセンスに置き換える必要があります。この 4.0 ライセンスでは、必要に応じて以前のバージョンの AttackTree を実行できます。
- バージョン 4.0 のインストールにより、FlexNet パブリッシングサービスが 11.15.0.0 にアップグレードされます。
- スタンドアロンライセンスではなく、ライセンスサーバーをフローティングライセンスとして使用する場合、AttackTree 4.0 には Isograph License Server 11.15.0.0 が必要です。Isograph ライセンスサーバー11.15.0.0 は、FlexNet lmadmin ライセンスサーバーを自動的にインストールします。Isograph ライセンスサーバー11.15.0.0 につきましては弊社までお問合せください。lmadmin の代わりに LMTools を使用する場合は、必要な 11.15.0.0 LMTools コンポーネントをカスタマーエリアからダウンロードできます。